

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町)
TEL (0848) 37-7272
- ワークスさつき (美ノ郷町)
TEL (0848) 48-5900
- むかいしま作業所 (向島町)
TEL (0848) 44-6460
- 尾道福祉専門学校 (久保町)
TEL (0848) 37-2222
- 尾道さつき作業所 (久田町)
TEL (0848) 23-8004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町)
TEL (0848) 48-4070
- すだちの家 (御調町)
TEL (0848) 77-1122
- 児童発達支援センターあいあい (木ノ庄町)
TEL (0848) 40-0073

利用者さんに楽しい気持ちになっていただくために、面白いお面をつけて「笑う門には福来たる」の掛け声を皆さんと一緒に朗唱し、笑いを誘いますが、笑いの手段は日々模索中です。中には笑いたくない、笑う事に慣れていない方がいらっしゃるのも事実で

「口腔笑いヨガ、あいうべ体操」は、利用者さんに無理なく行っていたただけるように、ゆったりとしたテンポの音楽に合わせて行う口腔体操です。この体操は、舌の位置を口腔内の正しい位置に戻し、鼻呼吸を促すことで感染症にかかりにくくすることが目的です。

笑いヨガを口腔体操に取り入れ、食事前に笑うことで嚥下(飲み込み)を促進し、安全に食事を召し上がっていただくことができます。また、夕方に口腔体操を行うことで、夕方不穏になる傾向にある利用者さんの気持ちの安定の一助としての役割も果たしています。

笑うことは、免疫力や自然治癒力を高め、ストレスの軽減や脳の活性化に役立ちます。消化力も向上し、栄養の吸収が良くなり、飲み込みがスムーズになる利点もあると言われています。

利用者さんに楽しい気持ちになっていただくために、面白いお面をつけて「笑う門には福来たる」の掛け声を皆さんと一緒に朗唱し、笑いを誘いますが、笑いの手段は日々模索中です。中には笑いたくない、笑う事に慣れていない方がいらっしゃるのも事実で

「口腔笑いヨガ、あいうべ体操」は、利用者さんに無理なく行っていたただけるように、ゆったりとしたテンポの音楽に合わせて行う口腔体操です。この体操は、舌の位置を口腔内の正しい位置に戻し、鼻呼吸を促すことで感染症にかかりにくくすることが目的です。

笑いヨガを口腔体操に取り入れ、食事前に笑うことで嚥下(飲み込み)を促進し、安全に食事を召し上がっていただくことができます。また、夕方に口腔体操を行うことで、夕方不穏になる傾向にある利用者さんの気持ちの安定の一助としての役割も果たしています。

「口腔笑いヨガ、あいうべ体操」に力 利用者さんに笑顔と喜びの花を

特別養護老人ホーム星の里 山本 景子

特別養護老人ホーム星の里では、昼食前や夕方に歯科衛生士が「口腔笑いヨガ、あいうべ体操」を実施しています。

「口腔笑いヨガ、あいうべ体操」は、利用者さんに無理なく行っていたただけるように、ゆったりとしたテンポの音楽に合わせて行う口腔体操です。この体操は、舌の位置を口腔内の正しい位置に戻し、鼻呼吸を促すことで感染症にかかりにくくすることが目的です。



▲口腔ケア中



▲唾液腺のマッサージ

いと思っています。

人生の最期まで、その方らしく食べる口を保つことを目標に掲げ、これからも歯科衛生士として口腔ケアを通して、利用者さんの笑顔発揮のお手伝いをさせて頂きたいと思っています。

介護施設の歯科衛生士の業務には、他職種と協働し、口腔ケアを通して全身の機能維持を図り、利用者さんのQOLを維持していく役割があります。口腔内を清潔に保つだけではなく、嚥む、飲み込む、話すなどの機能を維持し、可能な範囲でそれらの機能向上のための支援をしていくことが求められます。

す。しかし、笑いは確実に伝わっていくので、利用者さんのステキな笑顔の花がどんどん咲いていくように、体操のみならず日常の個別口腔ケアでも笑いの精神を大切にしています。

介護施設の歯科衛生士の業務には、他職種と協働し、口腔ケアを通して全身の機能維持を図り、利用者さんのQOLを維持していく役割があります。口腔内を清潔に保つだけではなく、嚥む、飲み込む、話すなどの機能を維持し、可能な範囲でそれらの機能向上のための支援をしていくことが求められます。



▲大きく口をあけて…



▲施設の外觀

みつぎ清風園 尾道さつき会に移管

～新たな時代の要請に応える施設運営を目指して～

デイサービスセンター星の里 池田 光紀

2016年4月から、救護施設「みつぎ清風園」の経営が尾道市から尾道さつき会に移管されることになりました。この施設を利用する方は生活保護の受給者で、身体や精神に障害がある方や、何らかの生活上の問題のため日常生活を営むことが困難な方が入所されています。施設では健康で安心して生活しつつ、社会復帰が可能な方は自立を目指す支援が行われています。

救護施設の利用には、障害種別による利用制限はありません。近年は支援を必要としている方を幅広く受け入れる「地域におけるセーフティネット」として、命と生活そのものを支える存在となっています。ホームレス状態の方やDV被害者など、緊急を要するケースは一時入所事業による受け入れが可能です。

当法人は、さまざまな種別の障害福祉サービス事業及び介護保険事業を経営しており、長年にわたり培ってきた障害児・者及び高齢者支援に関する高い専門性や経験を有しています。また、関係団体・施設との強固なネットワーク体制も築いています。

これらの人的資源やネットワークを総合的に活用することで、生活困窮者等に対するセーフティネットの役割、地域生活移行の推進及び日常生活の自立支援の取り組みを、より質の高いレベルで実現することを目指します。



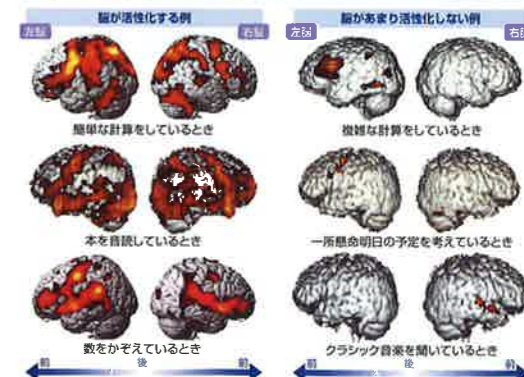
▲移管が決まった清風園

くもん学習療法導入へ

星の里小規模多機能型居宅介護事業所 佐藤 由佳

星の里小規模では、くもん学習療法を取り入れました。学習療法は、新たに音読や計算ができるようになることが目的ではなく、「音読」と「簡単な計算」を「楽しくコミュニケーション」を取りながら行うことで脳の前頭前野を刺激し、認知症の予防や症状の維持、改善を図る非薬物療法です。表情や意欲、身辺自立、コミュニケーション能力などを向上させる効果が期待できると言われています。

現在、職員一同専門資格の取得に励んでいるところです。



fMRI で見える脳画像。赤い部分が多いほど活性化していることを示す。

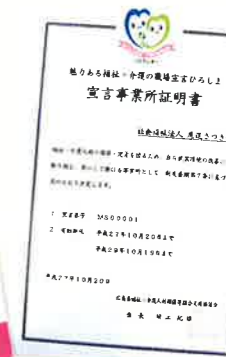
編集後記
今年には尾道には雪が降らないかと思いましたが、急な寒波に驚きました。道端で泥交じりの雪で雪合戦をしている子どもたちが印象に残りました。

(M.O)

寄付者一覧
二〇二五年九月～二〇二五年十二月・順不同 敬称略
〈寄付金〉日谷寛 廣谷毅 若田孝子 鼻孝子 崎谷巨 山根ヒナ子 村上仁 崎木洋子 赤松修 永正寺 平田久治 宗教法人妙宣寺 府中地区労働者福祉協議会 NPO法人尾道パイロットクラブ 長江レクリエーションダンス 医療法人 ささき小児科医院 匿名希望3名

魅力ある福祉・介護の職場宣言

尾道さつき会が、昨年10月に「魅力ある福祉・介護の職場宣言事業所」第1号に認定されました。



シリーズ
福祉のしごと
障害児・者施設編

ワークスさつきでは、「働きたい」という利用者さんの方の思いに応えるため、高い工賃の支給と一般就労に向けた支援を目標に掲げ、介護用福祉用具（レンタル商品）の消毒作業と一般企業での実習、就労に向けた訓練等に取り組んでいます。

小さな喜びが大きなやりがい ワークスさつき 高橋 いつみ

Q1 どんな仕事をしていますか？

毎日、利用者さんと一緒に作業を行っています。消毒作業では、布や歯ブラシ等で汚れを落とし、商品の塗装や梱包などを行います。作業を一緒に行うことで本人の適性を見極め、特性に合わせた作業内容や作業環境を提供しています。

本人の思いに耳を傾けるために、本人の状況や状態に合わせて面談も行います。面談内容は、作業だけでなく普段の生活や将来のことなどさまざまですが、どんな内容でも傾聴することを心がけています。また、休憩時には雑談をしながら和気あいあいとした雰囲気を作り、作業時間とのメリハリをつけることも心がけています。



▲仲間と協力して丁寧に消毒

Q2 仕事をするうえで大事にしていることは何ですか？

利用者さんが心を開いてくれたと感じる瞬間に、やりがいを感じます。新任職員として4月に配属され、お互いに手さぐりでの関係作りが始まりました。相手の思いや考えがすぐに理解できず、悩んだり落ち込んだりすることもありました。時間をかけながら向き合うことで徐々に本音で話してもらえるようになり、共感できる部分が増えました。一緒に活動しているからこそ感じられる毎日の小さな喜びが、大きなやりがいとなっています。



▲聴き方を工夫しながら面談

戸手高校生とCM合作
～「すごい」映像に感動～



すだちの家 反田 みどり

すだちの家は、広島県立戸手高等学校と「CM作り」で協力関係を築きました。

戸手高校は商業科目でCMの自主制作をしています。すだちの家の「CMが欲しい」と、戸手高校の「企業からオファーが欲しい」という思いがマッチした結果です。

2時間の取材だったため、どんな作品になるか不安がありましたが、完成発表会に招かれてビックリ。普通と思う施設の光景が、高校生の目を通すと「すごい」映像となり、高校生の感性に感動しました。先生方は「自主制作とオファー制作では、生徒の意気込みも作品の出来も違う」と喜んでくださいました。

作品は「尾商デパート」のすだちの家生産品コーナーでデビューしました。今後、事業所説明会や見学会などで皆様にご覧いただきたいと思っています。

ヤギが与えてくれたもの
～地域とのコミュニティ形成に一役～

星の里・今津野の家 谷 頼 誕



かわいいね～

すぐに仲良くなりました

尾道市では「高齢者の生きがいづくり」を推進するための一つの柱として「ええじゃないか農」という事業を実施しています。近年、ヤギを耕作放棄地に放牧して除草や癒し、コミュニティ形成の一助とした事例が紹介されており、農業再生にも期待がもたれています。そうした中、「ええじゃないか農」の「高齢者が住みなれた地域で健康でいきいきと安心して暮らせるまちの実現」という理念と当事業所の活動方針が合致しました。敷地内にヤギを放牧できるスペースも確保できたため、昨年の秋、尾道市からの委託により10日間ほど2頭のヤギを飼育することになりました。

またコミュニティ形成効果としては、飼育期間中に地域住民、子供、他事業所の方など72名の方が当事業所を訪問してくださいました。利用者さんと職員を加えると210名にもなり、2頭のヤギのおかげで新しいつながりが生まれました。

現在、ヤギを放牧していた場所には白菜などの野菜を植えています。地域の方から耕運機を借りて耕し、利用者さんと一緒に野菜の苗を植えました。ヤギのたい肥と私達の汗で出来た野菜は、今津野の家ブランドの野菜として売られています。

ヤギの名前は「メロン」と「マロン」。利用者さんもヤギに興味津々で「かわいいのう。このヤギ、乳は出んのん。ヤギの乳は昔よく飲んだ」と懐かしむ方がおられました。残念ながら2頭とも肉用種のカラヤギの雄のため、乳はできませんでしたが、利用者さんの回想と歩行訓練の動機付けに役買いました。

メロン(左)とマロン(右)です



欧州との違いと共通点 ～海外視察研修から得たこと～

尾道さつき作業所 今川 陽平



脳を活性化させるための空間

昨年の秋、全国の施設職員16名と一緒にイタリアとデンマークの障害者施設の視察研修に参加しました。自閉症施設、作業所、入所施設など6施設を視察しました。

社会保障制度や年金、税金の違いはありますが、視察した入所施設では、居室は全て個室でトイレ、お風呂、キッチンが完備されています。広々とした部屋は個性を生かしたレイアウトで、その人らしさがうまく表現されていました。

文化や宗教によって、障害者に対する考え方や制度、法律の仕組みに違いがあることなどを学びました。しかし一人一人に焦点を当てた支援を大切に考える方は日本もヨーロッパも共通したものでした。

かわいいダンスにほっこり
～高須幼稚園児が来所～

デイサービスセンター星の里 岡本 圭央

恒例となった高須幼稚園児との交流会が今年も開催されました。園児は鮮やかな衣装を身にまとい、ステージ上で名前を呼ばれると個性あふれる元気な返事を館内に響き渡らせていました。その度に利用者さんからは「おーっ」という声が聞かれ、温かい雰囲気に包まれていました。愛くるしいダンスには利用者さんも職員もほっこりさせられました。

会の終わりに、幼稚園の先生の経験がある利用者さんが代表してお礼を伝えました。また、園児からはお猿さんが餅つきをしている壁画がプレゼントされ、現在はデイサービスセンター星の里のフロアに飾られています。



▲利用者さんの視線は園児にくぎづけ



▲プレゼントされたかわいい壁画